
後悔ーリグレッター

流星群

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

後悔ーリグレットー

【Nコード】

N8064X

【作者名】

流星群

【あらすじ】

中学校生活をぼんやりと流されて生活していた。智香^{ちか}友人関係を最小限に抑え、同年代とのかかわりを希薄にしていた少女。中学3年生になり、智香にとある悩みが立ちはだかる。

その時に気付いたコト

今まで気付かなかったコト

自分を見つめた時に、智香は何を見るのだろうか

後悔ーリグレットー

「私は何をしていたのだろうか」

駅へと向かう大通りを制服姿の少女が歩いている。

時刻は午後10時ごろ

疲れた足取りで、瑠璃ヶ条駅へと向かう。

虚ろな目・疲れた足取り…周りのサラリーマンの方が元気に見える。

彼女の頭の中ではぐるぐると後悔と言う字が回っている

彼女の名前は湯島智香という

瑠璃ヶ条市の市立中学の3年生だ。

智香は学校で配布された、校内面接会参考資料のプリントで悩んでいた

「中学校生活の中で一番の思い出は何ですか」

智香は人間関係を作るのが苦手なのだ

中1の時は、保健室に逃げ込み

中2になると別室登校もした。

流石に中3で教室にいないのは成績に響くため、仕方なく行っていた。

陰湿ないじめに有ったわけではない

同年代の〈友達〉を作るのが苦手なのだ。

自分の趣味の中にいる同年代とは打ち解けられるが、全く別の世界では苦手なのだ

大抵の女子中学生は、芸能人にはまる人が多い

彼女は全く理解できなかった。根本的に興味がないのだ。
彼女がのめり込んだのが、ボランティアと手芸なのだ

いつの間にか自宅に着いていた。

真つ暗な部屋に電気を着けると、母親の字でメモが書かれていた
<夕飯は、レトルトの食品が有ります。食べてくださいね>

「…寂しい」

自分ひとりの世界に放った言葉は、虚しさを残して無へと還る
レトルトのご飯を食べ、お風呂からあがっても、彼女の頭から、後
悔は抜けなかった

悩みの種をカバンから取り出し、4つ程残る空白に目を向けた。

- 1つ目は、先ほどから悩んでいる、中学校生活の思い出
- 2つ目は、部活での苦労や、学んだこと
- 3つ目は、中学での友人とのかかわり
- 4つ目は、中学校生活で一番印象深く残っている事

「…分からない」

筆圧の薄い、シャープペンで書いた文字に目を落とし呟く。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8064x/>

後悔ーリグレッター

2011年10月22日04時43分発行